

実相寺が朝鮮通信使の休憩所となり、修復等の入札が行われる。

30〔京都町触集成〕宝暦十二年十二月二十六日

来未年朝鮮人来朝ニ付、上鳥羽村実相寺取繕御修復損料  
仮建物等入札有<sup>レ</sup>之候間、望之者ハ明廿七日より同廿九  
日迄之内、寺町通丸太町上ル所、中井主水方へ家持ニ而  
家持請人召連罷越、根帳ニ付、仕様帳写取、来未年正月  
四日・五日場所見届ケ、同七日四つ時、阿波於ニ御役所  
札披候間、此旨可ニ相触<sup>ニ</sup>者也。

午十二月廿六日